

いんざい *議会だより*



目次

- P2 12月定例会
- P3 補正予算の審査
予算審査常任委員会
- P4～ 一般質問
個人質問19人
- P14 請願・陳情
- P15～ 各常任委員会の審査
建設経済常任委員会
総務企画常任委員会
文教福祉常任委員会
- P18 議案と審議結果一覧
- P19～ 委員会視察報告
- P22～ 議会トピックス
正副議長の動向
編集後記
- P24 市民の声
次回定例会のお知らせ

12月 定例会

12月定例会は、11月29日から12月19日までの21日間、開催されました。

市長提出案件は議案15件、報告2件で、議会提出案件として委員会の発議案が3件、議員の発議案が1件、その他に請願2件についてそれぞれ慎重な審議が行われました。

審議結果は18ページに掲載しています。

令和5年度補正予算

予算審査
常任委員会

■一般会計補正予算(第5号・第6号)

歳入歳出予算の補正

補正前の額	507億1,861万4千円
補正額	10億8,092万6千円
補正後の額	517億9,954万円

■介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の補正

補正前の額	64億9,596万9千円
補正額	302万4千円
補正後の額	64億9,899万3千円

■国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の補正

補正前の額	103億8,103万7千円
補正額	357万5千円
補正後の額	103億8,461万2千円

予算審査常任委員会は、12月7日に委員10人出席のもと審査を行い、すべて原案のとおり可決しました。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

令和5年度補正予算の審査

審査概要

問 スクールバスの運行基準について伺う。

答 運行基準により通学距離が3km以上の児童を対象にしている。

3kmに満たない場合でも、通学路の中に危険な箇所、歩道が整備されていない箇所、歩道の幅が狭い場合、車道との距離が十分に取れない箇所なども対象としている。さらに通学する子どもたちが死角になりやすいトラックや、バス等の大型車両の交通量が多い場所を基準として盛り込んでいる。なお、ふれあいバス等の路線バスで通える場合や危険な通学路を回避できる他の通学路があるのであれば、この限りではない。

問 スクールバス運行業務委託4件、



スクールバスの運行拡充

高花小学校、いには野小学校、木下小学校、大森小学校について、高花小学校は26人、いには野小学校は24人が利用するというのだが、木下小学校、大森小学校の利用者数は何名か。

答 木下小学校では現在のところ最大で20名程度を見込んでおり、大森小学校は、最大27名程度を見込んでいる。

問 高齢者在宅福祉事業135万円と介護施設等整備事業135万円について伺う。

答 高齢者ふれあいバス利用負担金の増額補正と介護施設等の開設経費準備支援補助金である。

問 障害者自立支援給付事業が増額になっているが、施設数が増えたためか。

答 市内の事業者数が増えていることと、児童発達支援の子ども発達センターの事業のセンター化に基づき、単価が高騰していること、相談支援の事業と保育所等訪問支援が増えたためである。

問 教育情報収集活用事業とは何か。

答 文部科学省が行うリーディングDXスクール事業に対し、生成AIを活用した校務や授業を行う取り組みに対して、その予算を申請した。

問 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業の債務負担行為について、今回なぜ追加を行うのか。

答 昨今の物価上昇に伴い、工事費が増大して、約4億6千万円の増額となることから、事業費について債務負担行為の補正を行う。



(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設エリアの完成イメージ
(実際の外観と異なる場合があります)

問 学校給食センターの委託料はどのような内容か。

答 牧の原学校給食センターの受配校である船穂中学校、小林中学校、中央学校給食センターの受配校である原小学校、西の原小学校の配膳室空調設備工事の設計業務を委託するため、委託料を確保するものである。



我が市政を問う



一般質問

令和5年第4回定例会では、11月30日から12月6日に個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

個人質問

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 岩崎 成子…………… P.5 | 11. 藤江 研一…………… P.10 |
| 2. 松尾 榮子…………… P.5 | 12. 小川 利彦…………… P.10 |
| 3. 金丸 和史…………… P.6 | 13. 野崎 崇正…………… P.11 |
| 4. 軍司 俊紀…………… P.6 | 14. 中澤 俊介…………… P.11 |
| 5. 大野 忠寄…………… P.7 | 15. 都築 真理子…………… P.12 |
| 6. 松本 有利子…………… P.7 | 16. 櫻井 正夫…………… P.12 |
| 7. 板橋 睦…………… P.8 | 17. 鈴木 博美…………… P.13 |
| 8. 林 勝利…………… P.8 | 18. 山田 喜代子…………… P.13 |
| 9. 加藤 亮二…………… P.9 | 19. 増田 葉子…………… P.14 |
| 10. 近藤 瑞枝…………… P.9 | |



録画中継はこちらから



おしらせ

いんざい議会だより

令和6年(2024年)2月 No.207

問 車いすでも参加できるイベントを

答 来場者への配慮を行っていく

岩崎成子 議員



質問 いんざいふるさと産業まつりの総括は。

市長 今回は、二会場での開催で80を超える出店者、印西中学校吹奏楽部をはじめとした25組のステージショー、フリーマーケット、花火の打ち上げと盛りだくさんの内容で多くの来場者を楽しんでいただけたものと思う。実行委員会の発表によると、イオンモール千葉ニュータウン店提携駐車場会場には2万5千人、木下駅前にぎわい広場が1万2千人と多くの方が来場されたと聞いている。各会場とも活気にあふれ、市内農産物、市内産業のPR、市民相互の交流促進イベントとして、活力ある印西市を市内外にアピールできたものと考えている。

再質問 木下駅前にぎわい広場において、障がい者用駐車スペースから会場への導線上

に砂利があったり、園路にはキッチンカーが駐車していて周回できないなど、車いす利用者やバギー利用者への配慮が足りないとの声が届いている。今後のイベント実施に対する市の見解は。

環境経済部長 今回のご指摘に関しては、市として真摯に受け止め、実行委員会とも情報を共有させていただく。今後、同会場でのイベント開催の際には、さまざまな来場者への配慮が行えるよう、運営方法等を検討していく。

問 将来を見据えた行政施設配置を

答 責任を持って検討していく

松尾榮子 議員



質問 行政系施設配置検討会議の内容は。

総務部長 印西市公共施設等総合管理計画及び公共施設整備基本方針と連携を図り、本庁・支所・出張所の在り方や将来的な配置の検討を行う。

再質問 千葉ニュータウン事業による急激な人口増加、さらに印旛村・本埜村との合併により、市域も大きく広がった

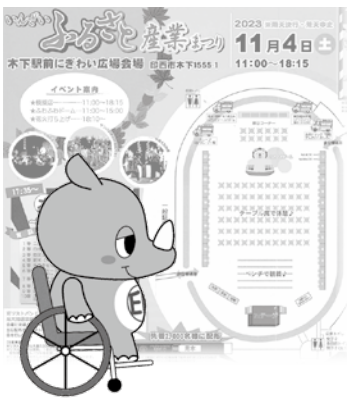
印西市が、機能的にまとまり魅力的で住みやすい市としてさらに発展していくために、市役所など行政系施設の配置は非常に重要。検討結果を市の施策に反映するのはいつ頃を目指すのか。

答弁 慎重に進める必要があるが、新たな行政課題や市民サービスに対応するため責任を持って検討していく。

再質問 市役所は行政サービスの拠点であるとともに、災

害時には市域が広がった市全体の防災拠点となる重要な施設。法定耐用年数50年で、築47年になる市役所は、今後さらに老朽化が進み、来庁する市民や職員の利便性、安全性からも早期に次期施設の整備が必要。令和13年度から計画されている大規模改修工事の前に、本庁舎の配置の目的をつけるべきではないか。

市長 早急に調整していく必要があると理解しているが、大変デリケートな問題でもあり、皆様のご意見も伺いながら慎重に検討していきたい。



問 マイナンバーカードの交付率は

答 80・7%、当市推計77・8%



金丸和史議員

質問1 マイナンバーカード

と保険証をひも付けしている
後期高齢者の割合は。

市民部長 令和5年9月のデ

ータでは、被保険者1万16
57人、割合が48・2%で約
5620人である。



マイナンバーカードの
保険証利用

質問2 令和4年度におけ
る後期高齢者の保健事業と介
護予防の一体的事業の状況は。

市民部長 保健師が出向き、

フレイル予防に関する健康教
育を36回実施した。また、個
別の支援として糖尿病性腎症
や生活習慣病等の重症化予防
低栄養予防の保健指導を実施

した。また、医療機関受診勸
奨を175人に実施した。

再質問 神奈川県大和市では

国の補助金を活用して「糖尿
病性腎症の重症化予防」を実
施している。印西市の国民健
康保険では以前から人工透析
の罹患率が高いと言われてい
たが、フレイル予防を含め、
重症化予防対策を積極的に実
施してはどうか。

答 併 保健事業と介護予防の

一体的事業の中で考えたい。

質問3 市内の小学校におけ

る教職員数に、千葉県の定数
と現在の配置状況とで差が生
じていないか。

教育長 10校で差が生じてお

り県に配置を強く伝えている。

質問4 小中学校の新入生に

図書館カード交付の考えは。

教育部長 既に保持している

人もいるため、今後、調査・
研究していきたい。

問 原小学校の分離新設を委員会で

答 検討したが設置していない



軍司俊紀議員

質問 原小学校の大規模校対

策として決算審査を踏まえ令
和6年度はどのような予算策
定を行うのか。

教育長 通学区域制度の弾力

的運用により学区外へ就学す
る児童の通学支援として、ス
クールバス運行業務委託の実
施及び第2校庭へ移動する児
童の安全確保のため警備員を
配置することから、補正予算
を上程した。併せて、水泳授
業の民間委託を検討中である。

市で委員会を立ち上げないの
はなぜか。

答 併 検討をしたが、設置に

至っていない。

再質問 学区外就学をする児

童数について報告があったが
学年単位で考えると学級編成
には影響がないと思う。この
結果をどのように考えるか。

答 併 通学区域制度の弾力的

運用で56人の児童が学区外
就学をする。大規模校の解消
にはなっていないが、大規模
化への不安を抱える保護者の
要望を叶えることができた
と考える。

質問2 ふれあいセンターい

んばの改修複合化工事が計画
されているが、印旛図書館の
代替計画はあるのか。

教育部長 検討中である。

再質問 図書館の児童書が、

劣化している。更新すべきだ。
答 併 順次、入れ替えたい。



整備が進む第2校庭

再質問 八千代市では分離新

設の為に全庁横断的な検討委
員会を作って検討した。印西

問 がん患者支援について市の考えは

答 がん治療の生活支援やケアが必要

大野忠奇 議員



質問1 がん患者の治療中及び治療後の生活支援やケア制度の状況は。

健康子ども部長 がん患者の治療費の負担軽減には高額療養費制度や高額医療・高額介護合算制度があり、千葉県のがん相談支援センターでは、がんの療養に関し様々な疑問や悩みの解決相談を行っている。また、心身の状況により、介護保険制度等の利用が可能となる場合がある。

質問2 今後の生活支援やケアの方針、施策は。

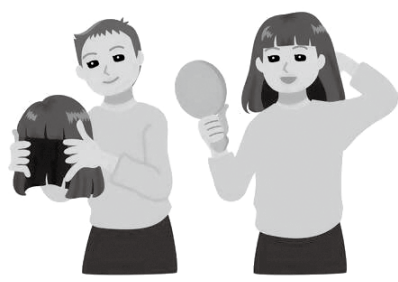
健康子ども部長 がん治療による外見の変化については、大きな苦痛であることから、その苦痛を軽減するとともに、社会生活支援をするための、生活支援やケアの施策が必要と認識している。

質問3 医療用ウィッグへの補助制度新設の考えは。

健康子ども部長 県が医療用ウィッグ等の購入者に助成を行う市町村への補助事業を開始したことから、本市においても医療用ウィッグ等への補助制度について検討している。

再質問 医療用ウィッグの補助制度の具体的な検討内容と実施時期は。

答弁 医療用ウィッグ等の補助制度については、その実施時期も含め、対象となる補装具の種類や補助額などの検討を進めている。



医療ウィッグでリフレッシュ

問 自主防災組織への助成拡充を

答 今後検討していきたい

松本有利子 議員



質問 防災力の高いまちをつくるために必要なことは。

総務部長 市民一人ひとりの防災意識を高めることが重要である。市などが行う「公助」には限界があるので、「自助」、「共助」への取り組みが、最終的には、自身や家族、まちを守る大きな力になる。

再質問 今後新たに取り組みが必要だと考えていることは。

答弁 今後は災害時における実際の行動や市民への対応を意識した訓練等の実施や、これらを踏まえた計画の見直しを進めていく必要がある。

再質問 各自自主防災組織がそのまま取り組める防災訓練プログラムの提示が出来ないか。

答弁 自主防災組織や自治会等から相談があった場合は、防災訓練のプログラム案なども示せるよう検討する。

再質問 自主防災組織の活動

を紹介、表彰などできないか。
答弁 今後検討していきたい。
再質問 研修費や、防災資機材の更新費等、自主防災組織への助成を拡充する考えはなにか。

答弁 今後検討していきたい。
再質問 50ページ以上のパンフレットは重要な情報だが読まない人もいる。ページ数の少ないパンフレットの作成は検討できないか。

答弁 基本的には現在の様式を配布するが、今後は、自治体のパンフレット等も研究していきたい。



問 「平和条例」の制定をするのか

答 制定するよう準備を進めたい

板橋睦 議員



質問1 平和条例の制定について。

現在、ロシアによるウクライナ侵攻や中東での紛争について、新聞、テレビをはじめとし、様々なメディアで悲惨な状況が数多く報道され、小さな子どもたちなど一般市民が多数、巻き込まれている状況を見聞きするたびに、本当に胸が痛くなる思いである。

このような報道を受け、市民の平和を願う思いは高まっているのではないかと思っている。市では、核兵器がこの地球上から全て廃絶されることを願い、世界の恒久平和を確立するため、平成7年10月11日に「非核平和都市宣言」を行っている。この状況において、市が「平和条例」の制定を進める状況は整ったのではないかと思うが、制定する考えはないか。

市長 今こそ、市として平和

を願う気持ちをしっかりと発信し、平和の思いを市内外に伝える時ではないかと考えている。これまでも、多くの議員から平和への質問、意見をもらう中で、私としても市長として平和条例を制定するよう、これから準備を進めていきたいと考えている。



市役所入口にある「非核平和都市宣言のまち」

質問2 国道464号から、

角田地区への進入路の整備計画は進んでいるのか。

都市整備部長 実施に向け準備を進めているところだ。

問 印西市のPR活動は

答 PR活動の推進に取り組む

林勝利 議員



質問 印西市シティプロモーションプランの進捗状況は。

環境経済部長 PR動画についてはこれまで3本制作している。平成30年度に「印度じゃないよ、印西市」、令和元年度に「印西バランス」、令和2年度に「印西妄想落語」を制作している。再生回数は、1作目が約21万回、2作目が約9万9千回、3作目が約10万3千回である。それぞれの作品により、印西市という名前や、都市と自然のバランスが取れた住みよいまちであることのPR、また、市の明るい未来を表現することで、KPI(※)に掲げる数値に効果が見られているものと認識している。

再質問 「印度じゃないよ、

印西市」と「印西バランス」について市民に「踊ってみた」動画を公募する考えや、市長

をはじめ議員・執行部も含めて「踊ってみた」動画を作成する考えはないか。

答 市にとって有用なシティプロモーションの取り組みについては若手職員を中心に設置した「庁内シティプロモーション検討委員会」で検討してみたいと考えている。

※KPI=Key Performance Indicatorの略で「重要業績評価指標」「主要業績評価指標」の意味。



印西市のPR動画

問 データセンターへの市民懸念は

答 事業者に伝え、指導していきたい

加藤亮二議員



質問1 データセンター建設

による税収増加は大きなメリットであるが、環境被害、騒音、日照権の侵害、電磁波の影響、街並みの景観への影響など、市民からの懸念や反対意見の声も聞かれる。市民とデータセンターが共存していくにあたり、市民の声を直接調査する計画はあるか。

都市建設部長

調査の計画はないが、施設の立地については事業者が事前に市と開発事業の事前協議を行うこととなっている。周辺住民等からご意見などをいただいた場合には、事業者に伝え、適切に対応するよう指導していきたいと考えている。

質問2 データセンター増加

により、平成23年に76億円余りだった固定資産税収が令和3年には116億円超に激増しているが、償却資産につい

ては過少申告のケースも多いようだ。船橋市のように「償却資産に係る実地調査要領」を定めて調査員による実態調査を促している自治体もあるが、印西市ではどのような対応を考えているのか。

市民部長

毎年「固定資産税（償却資産）申告の手引」をホームページに掲載するとともに所有者へ送付し、固定資産の評価や課税のしくみ等の周知に努めている。実地調査については、先進地の手法や体制等を調査・研究していきたいと考えている。



ビッグホップ西南側に建設中のデータセンター

問 自転車用ヘルメット購入費補助を

答 対応していく

近藤瑞枝議員



質問1 自転車運転者は令和5年4月1日よりヘルメット着用が義務となった。市民の着用率は把握しているか。

市民部長 印旛明誠高校と印西中学校の生徒へのアンケート調査では29%、市内9カ所の自転車駐車場での調査では2・9%の着用率であった。

再質問 ヘルメットの購入費補助を検討する考えはないか。

市長 実施している自治体の状況を確認し対応していく。



交通ルールを守りヘルメット着用・縦列走行する牧の原小学校児童

質問2 70歳以上が対象の「フレアイカ」のように民間

ふれあいバス無料乗車カード

バス利用者も同様のサービスを受けられるべきではないか。

福祉部長 引き続き先進地の調査・研究をしていく。

質問3 民生委員協力員制度

設置に向けての状況はどうか。

福祉部長 民生委員児童委員協議会に意見を聞き、令和6年度から希望する委員が活用できるように検討している。

質問4 市民の憩いの場である公園に、適正利用を求める

禁止事項表記の看板が増え続けている。パトロールを実施する地域団体等と協働し、看板の無いモデル公園を実証実験してみる考えはないか。

都市建設部長

地域住民との協働体制が整えば可能となる。

再質問

地域住民と協働し手持ち花火等ができる特色ある公園づくりを検討しないか。

答弁

住民との協働は重要であり先進事例を調査していく。

問 乳幼児健診拡大の目的と対応は

答 切れ目ない健康診査の体制整備

藤江研一 議員



質問1 政府の総合経済対策で低所得世帯に1世帯7万円を給付するが、令和5年内予算化の検討状況は。

市長 年内予算化を目指し、今定例会会期中に追加議案として補正予算案を提出したい。

再質問 今後の給付見通しは。

福祉部長 補正予算成立後、早急に準備を進め、なるべく早く支給できるよう努めたい。

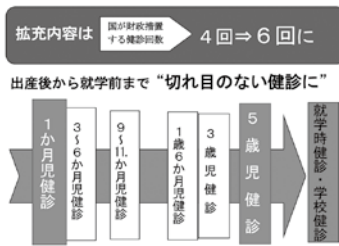
質問2 児童生徒の不登校対策強化で、スクールカウンセラーの配置充実は。

教育長 県教育委員会から市内全ての小中学校に派遣がある。現在は中学校が週1日、小学校が月1〜2日だが、より充実させる必要がある。

再質問 自分のクラスに入りづらい児童生徒のための校内教育支援センター設置は。

答弁 中学校に令和6年度に開設できるよう準備している。

質問3 乳幼児健診の公費支援拡大に関し、政府の総合経済対策では1か月児、5歳児の健康診査拡充を図ることとしているが、その目的と市での対応を伺う。



2023年度補正予算で1か月児と5歳児健診の公費支援が拡大

健康子ども部長 出産後から

就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制整備を目的とし、医療機関との連携による効果的な支援につなぐ「1か月児健康診査」及び就学前までに適切な療育につなげる「5歳児健康診査」について、支援を行うとされていることから、国の動向を注視したい。

問 国や県事業による市道の破損は

答 事業者に補修対応を求める

小川利彦 議員



質問1 印旛沼二期農業水利事業に伴う生活道路の破損については、印西市の財産である市道を壊されたという認識を持っており、事業所に責任を取ってもらうべきと思うが、市の考えを伺う。

都市建設部長 印旛沼二期農業水利事業の工事に起因する市道の破損については、事業者に復旧してもらうものと考えている。

再質問 「市道のパトロール」において、どの様な点に注力しているのか。

答弁 主に舗装などの状況把握に注力し、事故の原因となるような破損箇所等の発見に努めている。

質問2 水道未整備地域の消防水利状況を伺う。

総務部長 消火用の水が不足することのないよう、付近の水利等の情報を共有し、水槽

車など自動車両の増台や、常備消防や消防団と連携を図り対応する。

再質問 防火水槽設置予定は。

答弁 地域の協力を得ながら整備充実に努めたい。



質問3 有料公園施設等の体

育施設の使用料還付について。
都市建設部長 7日前までにその使用を取り消した場合のみと定めている。

再質問 各公民館と交流館の計6館で、同じ行政サービスを行うべきと思うが。

答弁 各公民館等の関係部署と調整していく。

問 職員人材育成基本方針の見直しを

答 現在、調査研究を進めている

野崎崇正 議員



質問 市職員の人材育成の基本方針について伺う。

総務部長 平成12年度に「印西市職員人材育成基本方針」を策定し、本方針に基づき、自己啓発の推進、職場研修の実践、職場外研修の充実、人事管理との連携、職場環境の整備等に取り組んでいる。

再質問 本方針は20年以上前に策定されたものだが、今の時代に合った内容に見直しを行うべきではないか。

答弁 市及び職員を取り巻く環境も大きく変化しているため、現在、見直しに向けて調査・研究を進めている。

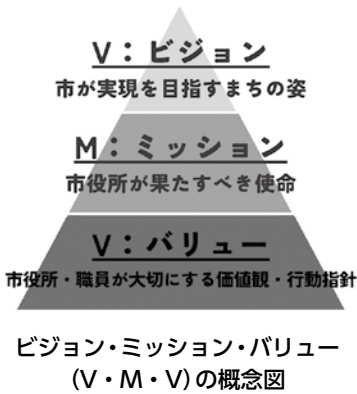
再質問 奈良県生駒市では、令和3年1月に「ビジョン・ミッション・バリュー（V・M・V）」を軸とした人材育成基本方針が策定され、リーダーシップや課題設定力、発想力、実行力など、これから

の時代の行政職員に求められる行動指針が明記されている。本市でも「V・M・V」を定め、目指すべき職員像等をより明確にすべきではないか。

答弁 市の将来都市像の実現に向けた有効な手段であるため、今後、検討したい。

再質問 市民等との対話や職員の挑戦を促す組織風土を醸成していくことが大変重要と考えるが、認識を伺う。

答弁 市の求める職員像の観点から人材育成を行い、組織風土を醸成することは、重要な要素と認識している。



問 ふるさと納税の流出額はいくらか

答 約3億3700万円で年々増加中

中澤俊介 議員



質問 ふるさと納税の流出超過額はいくらか。

環境経済部長 市へのふるさと納税の寄附額は、令和4年度は4820万8千円。ふるさと納税に伴う令和4年度個人市民税の控除額は3億8529万6789円で、差し引き、他自治体への流出額は約3億3700万円で年々増加傾向にある。

再質問 市の返礼品で人気上位トップ5は。

答弁 上位5品は令和4年実績で、コストコメンバークーポン、生切り餅、ハズキルーパー、さつくり揚げ、梨である。

再質問 今回の制度改正で除外される品物は。

答弁 コストコメンバークーポンが対象外となった。

再質問 クラウドファンディングの実績は。

答弁 今年度初めて「イルミ

ライ★INZAI」のクラウドファンディングを実施した。12月4日時点での寄附金額は13件、19万7千円。

再質問 制度改正を踏まえた返礼品を考えているのか。

答弁 地場産品基準を踏まえ、地元農産物や加工品の他、ゴルフ場利用券や北総線の車両運転などの体験型返礼品等の充実を検討している。

再質問 今後の新たな取り組みについての考えは。

答弁 今年度から本市の返礼品を掲載するポータルサイトを2つから4つに増やした。



印西市の返礼品を掲載する、ふるさと納税ポータルサイトの画面

問 気象防災アドバイザーの任用を

答 現時点では考えていない

都築真理子 議員



質問 多発化、激甚化する風水害の災害に備える試みについて伺う。

総務部長 被害を未然に防ぐためには、早期の情報収集及び情報発信を行い、市民の避難行動に繋げて行く事が重要であると認識している。

再質問 避難指示などを発信するタイミングについて伺う。

答弁 各河川で定められた氾濫注意水位に達した場合、大雨警報が発表され降雨が継続する見込みである場合、土砂災害警戒情報が発表された場合に避難指示を発令する。

再質問 各河川で定められた氾濫注意水位に達してから非難の呼びかけでは遅くないか。

答弁 ご指摘のとおり昨今の激しい降雨の状況を見ると急速に悪化する事も考えられる。市民に対して、いつでも避難ができるよう備える事や、自

主的な判断による避難も必要な事などを周知、啓発をしたいと考えている。

再質問 気象に関する知識を生かし、地域住民に対する防災講座の講師として、気象防災アドバイザーに任用する考えは。

答弁 豊富な災害対応の経験を持った退職自衛官を危機管理室長として任用していることから、気象防災アドバイザーの任用は現時点で考えていない。



発達する積乱雲

問 師戸地区にある市有地の活用は

答 地域の活性化につなげたい

櫻井正夫 議員



質問1 行政が師戸地区の農地の活用をするのはどうかと思うが、今の状況を伺う。

環境経済部長 当該市有地は農地法に基づき市が策定している農業振興地域整備計画における農用地区域内の農地であるので、農地として貸し出しも含めた検討を行っている。

再質問 貸し出しも含め検討しているとのことだが、ブルーベリー栽培を地元農家で行うことは可能か伺う。

答弁 仮に農地として貸し出す場合には、活用を希望する地元農家等が作物栽培事業の採算性・公益性等も含め地域の活性化に貢献されることが期待できるなら、貸出先の候補になり得るものと考ええる。

再質問 当該市有地について農業法人等から相談があるとのことだが、何件くらいか。

答弁 農作物の栽培を主とし

た事業用地として活用したい旨の相談が、農業法人等から5件ある。

質問2 師戸地区にある市有地を活用するためには、以前から伺っている印旛沼を周回する自転車道が有効であると思うが、現状について伺う。

都市建設部長 西印旛沼の佐倉市側には、既に自転車道が整備されており、印西市側も印旛沼を一周できるような自転車道を整備することは印旛沼の豊かな水辺環境を観光資源として活用することにつながると考える。



師戸地区の市有地の活用を考える

問 産後ドゥーラ育成に費用支援は

答 資格取得に費用補助の考えなし



鈴木博美 議員

質問1 産後ドゥーラの育成支援について伺う。

健康子ども部長 地域で活躍する産後ドゥーラ育成のために、資格取得費用の一部を助成している自治体があることは認識している。

再質問 母親の悩みを傾聴し家事や育児の直接支援を行う事ができる産後ドゥーラ資格の取得費用の補助支援は。

答弁 考えていない。



家事・育児支援で産後ママをケア

質問2 牧の原小学校の図書室の拡充は。

教育長 図書室隣の部屋の一部等、図書室として利用できるか検討する。

再質問 子どもたちに人気がある本は複数冊蔵書できないか。

答弁 学校図書館担当教員と学校司書が連携し選定を行い、これまでの貸出データに基づき人気のある本を複数冊購入している場合もある。

質問3 子どもも大人も楽しめる、ふなばしアンデルセン公園のようなパークの整備は。

都市建設部長 新設予定はないが、公園を再整備する機会には、利用者ニーズの把握に努め整備する。

質問4 带状疱疹ワクチン接種費用の公費助成実施時期は。

健康子ども部長 現在検討中で、準備が整い次第実施する。

質問5 児童手当「多子」の数え方の市独自での見直し検討は。

健康子ども部長 児童手当は国の制度に基づき対応したい。

問 安心の通学路横断歩道の再塗装を

答 通学安全対策協議会で検討



山田喜代子 議員

質問1 学校からの危険箇所

の改善要望は、学童注意の文字を書いて欲しい、カーブミラーを設置して欲しいなど、99カ所もある。千葉県警察対応となる横断歩道の再塗装は何年も放置されてきた。大型車の運行禁止も解決していない。どう対策を取るのか。

教育長 今後も関係機関を通して要望を続けていく。



危険！消えた横断歩道

質問2 高齢者、障害のある方も安心して外出できるように歩道へのベンチの設置を求め

る。例えば千葉ニュータウン中央駅自由通路の西側の橋は、

歩道も広く最適ではないか。

都市建設部長 調査・研究する中で検討する。

質問3 公平・適正な課税を。広報いんざいには「固定資産税の現況に応じた課税を行う」ため、現地の現況調査を行う」とある。どう進めるのか。

市民部長 固定資産家屋台帳と家屋現況図の不一致の確認を行うため、令和9年度までの5年間で作業計画書を作成し調査を始めている。職員約4名で1日平均で、現地確認は20件程度。令和5年11月24日時点で対象件数1万6512件のうち調査実績は2323件となっている。

質問4 AEDをどう活用しているか。

市長 市の施設、道路に面したコンビニ35店舗に設置している。また、中学2年生の授業で実習を行っている。

問 集会所整備の補助は時代遅れでは

答 調査、研究し検討したい

増田葉子 議員



質問 高齢化や災害の激甚化で、地域コミュニティの大切さ、拠点の必要性を再認識すべきだ。集会所を持たない自治会町内会は何団体あるか。また、持たない理由を把握しているか。

市民部長 194団体のうち、33団体が集会所を持たない。半数は20世帯ほどの小規模な団体である。

再質問 建替えを検討したくなる築30年以上の集会所はいくつあるのか。

答弁 68施設である。

再質問 新築や増築への補助は上限2千万円だが、昨今の資材費や人件費の高騰分の引上げが必要ではないか。また、建て替えるには旧施設を解体しなくてはならない。解体費用も補助対象にできないか。

答弁 解体も相応の費用が発生する。周辺自治体の補助状

況などを調査・研究したい。

再質問 修繕工事への補助は上限50万円だが、どのような工事が対象となるか。

答弁 施設本体の破損箇所の原状復帰工事である。

再質問 バリアフリーや省エネなど機能を向上させるリフォーム工事は対象にならず、もともと額が少なすぎる。リフォーム工事への補助を新設すべきではないか。

答弁 リフォーム工事も対象となるよう先進事例等を研究し、検討していきたい。



今後、建て替え・リフォームの必要な集会所が増えていく

請願・陳情

請願

第5-2号

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

〈採択〉

第5-3号

「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

〈採択〉

陳情

第5-8号

印西市国際交流協会への補助金に関する陳情書

〈議員配布〉

第5-9号

市民陳情を市議会で審査することを求める陳情

〈議員配布〉



表紙の写真

書き初めに挑戦

保育園では珍しい年長さんによる書き初めです。お習字の先生の話をよく聞いて、元氣よく伸び伸びと筆を走らせていました。



各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

印西市環境審議会条例の一部改正

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管

【議案第5号 印西市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】 附属機関である環境審議会について、今後のゼロカーボンシティ宣言を契機とし、さらなる活性化を図るため自発的な調査審議ができるよう、環境審議会の所掌事務に建議の規定を加えるもの。

問 所掌事務に建議の規定を加えるようになった契機は。

答 次年度に予定しているゼロカーボンシティ宣言の後に、地球温暖化対策実行計画の改定やカーボンニュートラルの効果的な戦略などの施策を環境審議会に諮るほか、カーボンニュートラルの実現に向けて活発な意見をいただ

くため。

問 建議の規定について、必要と認める事項とはどのようなことか。また、どこが決めるのか。

答 環境審議会は、市の附属機関のため事務局に相談していただき、印西市環境基本条例に規定する環境保全の基本的理念に関する事項であるかを決める。

問 カーボンニュートラルについて環境審議会がどのように関わることができるか。

答 地球温暖化対策計画改定の素案を審議会に諮問し答申を反映させていく。

問 条例の施行期日を令和6年4月1日に設定した理由は。

答 3カ月の周知期間を設けた。

問 今回の条例改正の自発的な調査審議は「いんざいカーボンニュートラルチャレンジ2050」戦略の策定のスケジュールに影響が生じるのか。

答 スケジュールに記載した時期は戦略素案の状況によって変更になることもあり得る。



環境審議会の会議

審査結果	番号	件名	結果
	議案第5号	印西市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定	可決



期末手当及び給与の改定

【議案第3号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正条例の制定について】

【内容】 人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に準ずる一般職の職員の期末手当及び勤奨手当の支給月数の改定を考慮するもの。

問 特別職の引上げ幅を伺う。

答 年間で、市長が10万7100円、副市長が8万9460円、教育長が8万6058円の増額である。

【議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】 人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に準じて、民間企業と均衡を図り、期末手当及び勤奨手当の支給月数

を均等に改めるもの。

問 任期付職員の給料はどのくらいアップしているのか。

答 今回の改定で、保育士は週30時間勤務で年間約14万6千円の増額、用務員は週30時間勤務で年間約18万1千円の増額となっている。

【議案第1号 印西市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】 こどもデータシステム等の導入で、法律等の一部を改正する法律の公布に伴うもの。

問 セキュリティ対策として、こどもデータシステム

テムなど、どのようなルールに基づいて行うのか。

答 個人情報保護法に基づき、管理等は定められている。



番号	件名	結果
議案第1号	印西市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第2号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第15号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第16号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決

審査結果

総務企画常任委員会の
審査の様子はこちらから。



文教福祉常任委員会

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

令和6年度児童生徒

増加用パソコン等を取得

【議案第10号 財産の取得】

【内容】教育用パソコン及び充電保管庫の取得

問 パソコン及び充電保管庫の単価はいくらか。

答 パソコンの小学校用は約4万1千円、中学校用は約3万8千円で、小学校用はペンの本体内蔵等で高くなっている。充電保管庫は44台収納用が約8万5千円、10台収納用が約8万4千円である。

問 落札した会社は当市で落札実績がないかどうか。

答 館山市で実績があり、納品に問題ないと確認した。

【議案第11号 指定管理者の指定（ふれあいサポートセンターいんざい）】

【内容】指定管理者を社会福祉人印楯福祉社とする。

問 利用定員は自立訓練20名以内なのに、定員超過ではないか。また同施設では何名まで受け入れられるのか。

答 同施設の1日の来所者数は平均して12名なので、まだ余裕はある。

問 現在22名利用だが、利用者の入れ替わりはあるか。

答 自立訓練は原則2年、多くて3年であり、利用者を入れ替わっていく。

【議案第12号 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）】

【内容】指定管理者をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)とする。

問 指定管理者をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)とする。

答 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

問 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

答 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

問 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

答 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

問 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

答 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

問 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）

答 指定管理者の指定（西の原、西の原第2、原、原第2及び原第3学童クラブ）



ふれあいサポートセンターいんざい

問 指導員の研修に市は関わらないのか。

答 市でも指導者から提案いただき、行っている。

番号	件名	結果
議案第10号	財産の取得（教育用パソコン及び充電保管庫）	可決
議案第11号	指定管理者の指定（ふれあいサポートセンターいんざい）	可決
議案第12号	指定管理者の指定（西の原学童クラブ・西の原第2学童クラブ・原学童クラブ・原第2学童クラブ・原第3学童クラブ）	可決
議案第13号	指定管理者の指定（六合学童クラブ・平賀学童クラブ・いには野学童クラブ・本埜学童クラブ）	可決
請願第5-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの
請願第5-3号	「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの



文教福祉常任委員会の
審査の様子はこちらから。

令和5年第4回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番号	件名
《議案》市長提出	
議案第4号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第5号	印西市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定
議案第7号	令和5年度印西市一般会計補正予算(第5号)
議案第8号	令和5年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第9号	令和5年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第10号	財産の取得(教育用パソコン及び充電保管庫)
議案第11号	指定管理者の指定(ふれあいサポートセンターいんざい)
議案第14号	令和5年度印西市一般会計補正予算(第6号)
議案第16号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
《議案》委員会提出	
発案第1号	印西市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

番号	件名	議決結果	大野忠奇	加藤亮二	鈴木博美	都築真理子	野崎崇正	林勝利	藤江研一	松本有利子	稲葉健	小川利彦	櫻井正夫	岩崎成子	近藤瑞枝	中澤俊介	増田葉子	松尾榮子	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	米井重行	海老原作一	
《議案》市長提出																									
議案第1号	印西市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第2号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第12号	指定管理者の指定(西の原学童クラブ・西の原第2学童クラブ・原学童クラブ・原第2学童クラブ・原第3学童クラブ)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第13号	指定管理者の指定(六合学童クラブ・平賀学童クラブ・いには野学童クラブ・本榎学童クラブ)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第15号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
《議案》委員会提出・議員提出																									
発議案第1号	議案第7号 令和5年度印西市一般会計補正予算(第5号)に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	-
発案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	
発案第3号	国における2024年度教育予算拡充に関する意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	
《請願》																									
請願第5-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	
請願第5-3号	「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません)、―=その他 ※議長(海老原作一)は採決に加わりません。
 ※議案第6号は、取下げにより欠番です。

「公共施設」「交通政策」「入札」について視察

総務企画常任委員会

令和5年10月31日から11月2日の3日間、愛知県知多市、三重県四日市市、三重県伊勢市を視察しました。

知多市

知多市の「知多市公共施設等総合管理計画」に係る取り組みについて研修しました。知多市は人口が2015年をピークに減少に転じ、生産年

齢人口が減少し高齢人口の増加に伴う社会福祉費用が年々増加見込みである中、施設総量縮減の具体的な取り組み例など詳細について伺うことができ有益でした。伊西市においての公共施設総合管理計画の参考となる情報を得られました。

四日市市

四日市市の、先進的な交通政策に関する取り組みについて研修したデマンドタクシーについては、本市で令和5年11月から始まったタクシーチケット配布事業と類似しており、運用について参考となりました。伊西市では令和7年度にふれあいバスのルート改正、増便などを予定しています。四日市市のように、市が



運営するバスだけでなく、民間のバス路線も合わせて公共交通網を形成する重要性を感じました。

伊勢市

伊勢市における契約事務の改革の視察は、自治体運営における透明性と効率性を高める実践的な取り組みを理解す

るための貴重な機会でした。総じて、伊勢市の取り組みは、模範とするべき進歩的なステップと評価でき、この視察は我々にとって非常に有意義なものとなりました。

委員会視察報告



菊陽町に台湾半導体大手メーカーTSMCが進出

建設経済常任委員会

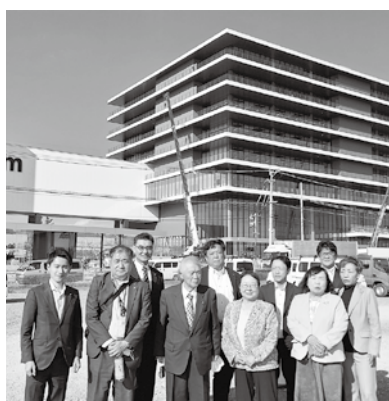
令和5年10月17日から19日まで熊本県菊陽町、鹿児島県薩摩川内市、鹿児島市を視察しました。

菊陽町

TSMCの誘致においては、国・県が積極的に推進していることから補助金を活用して事業を展開していました。令和6年の開業に向け、人口増加への対応、住宅建設、交通渋滞等の課題に、着々と準備を進めているとのことでした。

印西市においては、データセンター等大手企業の進出で税収は右肩上がりの状況であります。更なる企業誘致、進出が見込まれる中、印旛沼や山林などの自然環境整備を行い、市外からの人口流入や産業の活性化に繋げバランスの

とれたまちづくりが望まれます。



薩摩川内市

カーボンニュートラルを目指すにあたって、市役所が率先して温室効果ガス排出量など具体的な数値を明らかにし、その客観的な現状把握をもとにして、具体的な行動計画を策定する試みを行っています。

また、平成23年から次世代エネルギーのまちとして、市

民や事業者と共同して脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行っており、太陽光・風力・バイオマス等のエネルギーが活用されていきました。



鹿児島市

ゼロカーボンシティがごし
まの実現に向けた取り組みを鹿児島県と一体化で行っています。ゼロカーボンの取り組みへの課題は、市民・事業者

す。課題克服のため、PR事業の展開、パートナー制度、事業者への補助金や認定制度等の導入が積極的に行われていきました。

また、大人から子どもまで楽しく学べる体験型環境学習施設「かごしま環境未来館」の見学も行いました。

この視察で学んだことは、印西市の課題解決に大いに参考となるものでした。



オーテピア高知図書館 保幼小中連携等を研修

文教福祉常任委員会

令和5年10月10日から12日まで、高知県香南市、高知県津野町、高知市を視察しました。

香南市

保幼小中連携モデル地域実践研究事業として保育所・幼稚園、小学校、中学校が情報



共有し、学力の向上や不登校未然防止を図っています。いじめや不登校減少の成果が出ており、子どもの発達段階に応じた、きめ細かな指導の成果と思われます。

津野町

同町葉山小学校では、平成12年度より地域住民を講師に招き、クラブ活動を行ってき



ました。例えば料理クラブでは、材料、献立、料理作りの指導などの企画・準備は全てボランティアが行い、学校の先生は、子ども達の安全管理のための、大きな負担軽減になるとの説明がありました。

高知市

高知県立図書館と高知市民図書館の合築によるオーテピア高知図書館、声と点字の図書館、高知みらい科学館の3施設からなる複合施設を見学しました。利用者は4年7カ月で400万人です。レファレンス業務等、図書館の根幹に関わる業務は、司書を中心とした高い能力の専門職を確保するとともに直営を維持しています。返本、書庫出納な



どバックヤード業務は委託でした。三市の示唆に富む説明を、今後の印西市のまちづくりを活かしていきたいと思えます。

委員会視察報告

12月定例会

補正予算

一般質問

請願・陳情

常任委員会

議案と審議結果

委員会視察報告

議会トピックス

議会

トピックス



議員研修

令和5年12月18日、印西市議場において
印西市議会議員研修会を開催しました。

中央大学法学部教授の礒崎初仁氏を講師としてお迎えし、「議会基本条例制定に向けて」その意義と検討ポイント」と題し講演いただきました。

はじめに、二元代表制の基本的な考え方や、その解釈として熟議デモクラシーの考え方を学びました。その後、議会の権限に関するクイズを通して議会の権限や役割を考えました。

議会基本条例が、議会の運営や議員の活動に関する上位規範であることや、その必要性についても学びました。議会基本条例の制定に向けた大変学びのある講演となりました。



印西市議会議員の請負の状況の公表に関する条例が公布されました

第4回定例会において、発案案として上程された「印西市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について」が賛成者全員で可決されました。

近年の地方議会議員のなり手不足への対応のため、地方自治法及び地方自治法施行令の一部が改正され、議員個人と市との請負に関する規制の緩和がされました。印西市議会では、議員個人による市との請負の状況を公表すること等により透明性を確保し、議会運営の校正及び事務執行の適正を図ることを目的に、この条例を制定することとしました。

この条例では、市から請負をした議員は会計年度ごとに請負の状況を議長に報告すること、また、議長は報告の一覧を公表することを定めています。

※この条例は、令和5年度中の市との請負から適用され、公表は令和6年度からになります。

正副議長の 動向

印旛管内市議会
正副議長連絡協議会
視察研修に参加

令和5年11月9日に沼津市議会の「大規模災害対応指針」における議員の災害対応行動マニュアル及び市内企業に対する業務継続計画策定のための専門家の派遣についての研修が行われました。マニュアルでは、初動期（災害発生から概ね24時間）における会議開催中、休会中、閉会中それぞれの議員、議会の対応や、初動期経過後（議会が通常機能を回復するまで）は原則として災害発生から3日後の午前10時に全員協議会を開催すること、正副議長は災害発生から24時間経過後に登庁し対応することなど、詳細に示されていました。

印西市議会災害対策行動マニュアルの確認の必要があると思料して研修を終え、翌10日には、沼津港航路水門「びゅうお」の視察を行い帰路につきました。



おしらせ

いんざい議会だより

令和6年(2024年)2月 No.207

22

北総地区市議会正副議長会 議員研修会

令和5年10月30日、成田市内において千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会が開催され、印西市議会から20名の議員が参加しました。

講師は、鍵谷一氏で、「新たな自治体防災対策と議会、議員の役割」と題し、講演がありました。



災害時に議員がとるべき行動や議員活動の考え方、安全安心の地域づくりの重要性等、多くのことを学びました。

訂正とお詫び

議会日より206号(11月15日発行)の掲載記事に誤りがありました。お詫びを申し上げますとともに、訂正いたします。

4ページ上段、右の写真

《誤》【避難用支援者システム管理推進】

《正》【避難要支援者システム管理推進】

23ページ編集後記

《誤》予算審議常任委員会

《正》予算審査常任委員会

視察に来庁

■神奈川県伊勢原市議会

令和5年10月11日、神奈川県伊勢原市議会議員が視察に来庁しました。

視察内容は、「子育て支援施策について」「健康施策(健康ちよきん運動等)について」でした。子育て支援課及び保育課の課長及び担当者が説明を行いました。

■愛知県蒲郡市議会

令和5年11月6日、愛知県蒲郡市議会議員が視察に来庁しました。

視察内容は、「ICT教育について」でした。学校情報化先進校に認定された原山小学校において授業を見学し、校長及び教育センター長が説明を行いました。



■愛知県豊田市議会

令和5年11月14日、愛知県豊田市議会議員が視察に来庁しました。視察内容は、「印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」でした。企画政策課の課長及び担当者が説明を行いました。

編集後記

はじめに、令和6年能登半島地震により被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の区分が5類に移行し日常生活を取り戻しつつありますが、世の中は物価の高騰等により季節同様に冷え込んだままです。こうした状況に目を向け、議員も一般質問を行っています。

議会だよりも、市民目線より分かりやすくお伝えできるように取り組んでまいります。

昨年はWBCで日本中が沸き立ちましたが、2024年はどんな年になるのでしょうか。

(林)

委員長	米井 重行
副委員長	松本有利子
委員	鈴木 博美
〃	都築真理子
〃	林 勝利
〃	櫻井 正夫
〃	板橋 睦

四季の魅力あふれる印西

滝野中学校
3年 渡部 ひなた



都会的な風景の中に緑あふれる自然がある。それが、私たちの暮らす印西市の魅力です。

今の印西市は、駅前を中心に開発され、利便性が非常に高くなりました。そのおかげで私たちは日々、快適な生活を送ることができています。住みよいこの街には多くの人が集まるため、どんどん都市化が進んでいます。喜ぶ声も多く耳にしますが、一方で私たちの心を癒やしてくれ

る豊かな緑が少なくなってきたように感じます。特にここ数年、私はそれを強く感じています。聞くところによると、イノシシなどの捕獲数が増えているそうです。動物たちも住処を追われているのかもしれないですね。

思い返せば、私は幼い頃から当たり前のように四季折々の印西を楽しんできました。春には小林牧場や吉高に見事な桜が咲き、夏には様々なイベントが開催され、どこからか祭り囃子が聞こえてくる。公園や並木の緑が色づいてくると秋の訪れを感じ、冬にはイルミネーションが街を彩る。都市と自然の共存が実現されている印西市だからこそ、このように四季折々の楽しみ方ができるのでしよう。この四季ある印西市が、どうか失われませんように。印西市が豊かな自然を残しながら発展しつづけることを願っています。

第1回定例会 会期予定及び日程

第1回定例会は、2月14日(水)から3月18日(月)までの会期予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、予定が変更となる場合があります。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。



なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



印西市マスコットキャラクター いんざい君

日	月	火	水	木	金	土
2/4	2/5	2/6	2/7 議会運営委員会	2/8	2/9	2/10
2/11 建国記念の日	2/12 振替休日	2/13	2/14 本会議 (議案上程)	2/15 本会議 (会派代表質問)	2/16 本会議 (会派代表質問)	2/17
2/18	2/19 本会議 (個人質問)	2/20 本会議 (個人質問)	2/21 本会議 (個人質問)	2/22 本会議 (個人質問)	2/23 天皇誕生日	2/24
2/25	2/26 予算審査 常任委員会	2/27 予算審査 常任委員会	2/28 予算審査 常任委員会	2/29 予算審査 常任委員会	3/1 予算審査 常任委員会	3/2
3/3	3/4 総務企画 常任委員会	3/5 文教福祉 常任委員会	3/6 建設経済 常任委員会	3/7	3/8	3/9
3/10	3/11 本会議 (議案の採決)	3/12	3/13	3/14	3/15 議会運営 委員会 正副委員長会議	3/16
3/17	3/18 本会議 (議案の採決)	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22	3/23